



あくさんぽ(^ ^)

まいど~VOL. 31 一人キャンプ編

byあくたがわ

今年のゴールデンウィークは初めての5連休。この休みはどうしてもしたい事があります。ユーチューブで見て行きたくなったのがソロキャンプ。奥さんと長男は奥さんの実家に長男の就職の報告に帰ると言っていたので、本当に自分一人の気ままなキャンプに行きました。久しぶりに倉庫からキャンプ道具を引っ張り出して、車に積み込み。今回は7,000円の焚き火台をLECTで買って、あとは食材の調達。事前に肉の卸屋さん(うちのお客様)に頼んで大きめのステーキ肉を準備しています。これは2日目の夜の豪華ディナー用です。2泊する予定で、初日の夜は魚をと思い、鮎の串焼きにサザエのつぼ焼きに決まり。めちゃくちゃ贅沢な献立に満足です。大型クーラーボックスに食材と缶チューハイとビール詰め込んで、聖湖キャンプ場へGo!!
もちろん予約も不要です。実はいろんなキャンプ場の空き状況を調べたけど、ゴールデンウィークのキャンプ場が一週間前に空いとるわけがなかった。その結果近くに「いこいの村ひろしま」の温泉があるのも聖湖の魅力でここに行くことにしました。

到着してビックリ(°_°)隙間なくテントでいっぱいになっとるじゃないですか。そのわずかな空きスペースに一人でテント設営するのが恥ずかしくて、場内を車で3周してやっと炊事棟のそばの周りに、テントのない場所を見つけてテントの設営。椅子に焚き火台もセットして”キュー”とビールを飲みたいがここは我慢! 飲んだら車で温泉に行かれんので、お昼はお茶で済ませます。15時くらいには温泉に行って汗を流したら、早めの晩ご飯の準備と、ビールと缶チューハイでのを潤わせます。山の中でも昼間は結構な暑さです。酒が全身に染み込みます。鮎を串に刺して揺れる炎を眺めながらじっくりと焼けるのを待つ、この時間こそが至福のひとつ。一人で酔ってます、この雰囲気ともちろん酒にも。「うま〜い」夜も更けて周りが暗くなると気温が下がりはじめたのがよく分かります。火の勢いを増す為、うちわで仰ぐのをやめれません。くっそ寒いぞ(ー)！諦めて2枚重ねの寝袋に入った方が暖かった。もう寝ます、寒すぎ。結局2泊せずに翌日にはテント撤収して帰りました。そう、豪華ステーキ肉は自宅で翌々日、庭で焼肉をした時に家族に振る舞いました。独り占めはいかんよね、やっぱり皆で食べた方がおいしかったです。またいつか一人キャンプに行きます。



社長の趣味より



「最近のキャンピングカー事情」

その①

車離れが多くなっている一方で、移動するツールとして車を使おうという動きが加速しているそうです。分かりやすいのは車中泊です。リーマンショック後の節約志向を受け、安く旅行をする手段として、車中泊に注目が集まり2008~2009年には車中泊をテーマにした雑誌が登場しました。

さらに2010年6月から行われた高速道路無料化の社会実験によって車中泊をする人は多くなりました。2011年の東日本大震災以降、熊本地震、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震と被災地でのトレーラーハウスの利用が拡大しました。北海道では仮設住宅として使われるまでになった事も車内で暮らす事へのイメージを変えました。

さらに最近では泊まるだけにとどまらない使い方も出てきているそうです。訪日外国人旅行者が使用する機会が増えてます。現在、国内にあるキャンピングカーは約11万台です。10年ほどで約2倍に増えており、ここ数年は年間数千台ずつ増加してます。一般社団法人日本カートラベル推進協会のアンケート調査によると車中泊経験者のうち、46%がキャンピングカー以外で宿泊していることを考えると、市場規模はそれよりはるかに大きい可能性があります。近年の特徴はレンタルが増えていることです。訪日外国人も含め、旅行者が借りて使うケースが増えているそうです。 つづく



諸永 雄三